

## 令和3年度 CREST「細胞外微粒子」若手チャレンジ

### 1. 目的

領域の更なる発展に資する、領域の裾野を広げるような挑戦的研究を推進することを第一の目的とし、若手研究者が、領域全体の研究進展やポートフォリオ的に重要なテーマを自ら考えて提案することで、これまでの研究提案とは異なる視点から自身の研究を見直し、新たなモチベーションを持って研究に取り組んでもらう。同時に若手研究者が独立したポジションを得るための準備の一環として、独自の研究計画とそのマネージメントを学び、経験を積んでもらう。

### 2. 概要

本領域研究者で、本領域から直接予算を配分されていない若手研究者を対象とし、領域方針に合致し、領域全体に資する研究を支援する。

### 3. 予算・研究期間

1件あたりの予算は最大300万円、期間は2022年3月末までとする。但し、翌年度継続を希望する場合は、再申請可能（領域会議における若手チャレンジ採択者の進捗報告の内容も踏まえて、再審査を行い、総括が継続すべきと判断する研究は、総括裁量経費等により2023年3月末まで延長する場合がある）

### 4. 選考・採択、報告義務

研究者から提出された研究提案書を研究領域総括が審査し、優れた提案には面接を行い、最終採択者を決定する。採択者は領域会議での進捗報告および年次報告書への研究報告記載が必要。

## 令和3年度 CREST「細胞外微粒子」若手チャレンジ採択者

### 新規

チーム名	グループ名	氏名	所属	課題名
秋田チーム	大槻G	伊藤慎悟	熊本大学	細胞内小胞に発現するオーファントランスポーターによる微粒子の放出制御機構の解明
秋吉チーム	秋吉G	水田 涼介	京都大学	磁気駆動エクソソームの設計とバイオ機能評価
山下チーム	的場G	馬場 功士	九州大学病院	エクソソームを介した糖尿病性血管石灰化機序の解明と治療的制御への試み
吉森チーム	吉森G	柳川恭佑	大阪大学	Rubicon による新規エクソソーム産生制御機構の解明
二木チーム	二木G	前川 大志	愛媛大学	マクロピノサイトーシスに必須なmembrane ruffle形成の分子基盤の解明
太田チーム	太田G	服部一輝	東京大学	液滴内細胞間EV 送達系を用いた、EV 送達メカニズムの網羅的解析
高野チーム	高野G	本田 晶子	京都大学	粒子含有パーソナルケア製品によるアトピー性皮膚炎悪化機構の解明
渡邊チーム	西増G	加藤 一希	東京大学	抗ウイルス免疫応答におけるユビキチンの役割の解明
	大塚G	柴田 智華子	東京大学	癌細胞由来EVの特異的単離と機能解析
豊國チーム	豊國G	本岡 大社	名古屋大学	アスベストおよびタルクがタンパク質を吸着することで惹起する、卵巣におけるcancer initiating eventsの解明

### 継続

チーム名	グループ名	氏名	所属	課題名
山下チーム	山下G	皆川 朋皓	京都大学	近接細胞間におけるエクソソーム授受のライブイメージングと細胞形質の同調
吉森チーム	吉森G	田端 桂介	大阪大学	細胞外微粒子により誘導されるリソファージ制御因子の新規同定と機能解析
		上西 達也	大阪大学	リソソームエキソサイトーシスを制御するCa <sup>2+</sup> チャネルTRPML1 複合体の構造解析
鈴木チーム	鈴木G	廣澤 幸一朗	岐阜大学	高精度3次元1分子追跡法を用いた細胞外微粒子動態の解明
		梅林 美和	岐阜大学	ガングリオシドGM3のエクソソーム上のインテグリンβ1の活性とエクソソーム産生に及ぼす作用の解析
		花島G	大阪大学	膜動態解析を基盤としたエクソソーム多様性と生体機能との相関の解明
華山チーム	望月G	木村 康義	大阪大学	環境中外因性微粒子の脳への伝播様式と生体応答
小椋チーム	村上G	岩山 智明	大阪大学	オルガネラ迅速単離による細胞外微粒子の形成メカニズム解明
豊國チーム	豊國G	伊藤 文哉	名古屋大学	細胞死依存性EVsによるがん形質獲得機構の解明